

事前評価個表

整理番号	20
------	----

地域（地区）名	<small>とよた</small> 豊田	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	山口県	対象市町村	<small>しものせき</small> 下関市、 <small>ながと</small> 長門市
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	市、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、山口県の西部に位置し、西は日本海、南は瀬戸内海に面している。森林面積は74千ha（森林率69%）で、このうち計画の対象となる民有林は73千haであり、スギ・ヒノキを主体とする人工林は31千ha（人工林率43%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、12齢級をピークとし、10齢級以上の割合が57%と森林資源の充実が進む一方、間伐対象森林（3～12齢級）の割合が23%を占めており、増大する利用可能な資源の活用と適正な管理が必要となっている。</p> <p>このため本地区では、資源の循環利用を促進しつつ、水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図ることが求められており、主伐後の植栽や間伐等の適時適確な森林施業により健全な森林を育成していく必要がある。</p> <p>しかしながら、近年の林業採算性の低下や林業従事者の減少、森林所有規模が小規模零細であり施業の集約化が進まないことなどを要因として、必要な森林施業が遅れ、森林の有する公益的機能の発揮に支障をきたすおそれがある。</p> <p>このため、本事業では森林資源の循環利用と森林の有する公益的機能の持続的な発揮のため、施業の集約化・機械化による効率化を図りつつ、主伐後の植栽や間伐等の森林施業を計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,177ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>総事業費：1,277,987千円（税抜き1,161,806千円）</p>
費用便益分析結果	<p>$B/C = 6.64$</p> <p>（総便益（B）=12,269,252千円、総費用（C）=1,846,708千円）</p>
評価結果	<p>必要性： 水源涵養や土砂流出防止等といった森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、主伐後の植栽や間伐等の森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林施業の集約化・機械化等による効率的かつ適確な森林整備を実施することとしており、費用便益分析の結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林資源の現況を踏まえた計画的な事業の実施により健全な森林が育成され、森林の有する公益的機能の維持増進はもとより、将来にわたっての優良材の安定供給が期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業





都道府県名：山口県

地域(地区)名：豊田

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,883,247	
	流域貯水便益	674,663	
	水質浄化便益	2,639,841	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,446,801	
環境保全便益	炭素固定便益	1,551,180	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,073,520	
総 便 益 (B)		12,269,252	
総 費 用 (C)		1,846,708	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,269,252}{1,846,708} = 6.64$		

森林環境保全整備事業 豊田地区（山口県）概要図

-  事業区域
-  市町村界
-  国有林
-  民有林

